

## 2023 年度 第 1 回 鋼構造運営委員会 議事録

1. 日時 2023 年 5 月 17 日 (水) 13:30~17:00
2. 場所 308 会議室+オンライン開催 (Zoom)
3. 出席者 五十嵐規矩夫, 岡崎太一郎, 聲高裕治, 石井大吾, 石田交広, 石原直,  
(敬称略) 井戸田秀樹, 岩田善裕, 宇佐美徹, 越智健之, 小野潤一郎, 金尾伊織, 吉敷祥一,  
城戸將江, 木村祥裕, 桑原進, 佐藤篤司, 澤泉紳一, 澤本佳和, 鈴木淳一,  
竹内徹, 田中剛, 原田幸博, 見波進, 安田聡, 山田哲, 山田丈富, 和田昌敏,  
村上行夫 (記録)  
下線: 欠席者
4. 資料 (ストレージサーバ)
  - 01-01 議事予定 (五十嵐主査)
    - 01-01-01 運営委員会委員名簿 (聲高幹事)
  - 01-02 2022 年度第 4 回鋼構造運営委員会議事録案 (村上幹事)
  - 01-03 構造本委員会関係 (五十嵐主査)
  - 01-04 座屈小委員会資料 (金尾委員)
  - 01-05 接合小委員会資料 (桑原委員)
  - 01-06 素材小委員会資料 (見波委員)
  - 01-07 次世代設計規準検討小委員会資料 (欠番)
  - 01-08 各種合成構造指針改定小委員会資料 (吉敷委員)
  - 01-09 環境小委員会資料 (和田委員)
  - 01-10 塑性設計小委員会資料 (佐藤委員)
  - 01-11 軽鋼構造設計施工指針・同解説改訂小委員会 構造本委員会査読に対する回答 (竹内委員)
  - 01-12 耐火設計小委員会資料 (欠番)
  - 01-13 鋼管トラス構造設計施工指針改定小委員会資料 (越智委員)
  - 01-14 鋼構造限界状態設計指針改定小委員会資料 (欠番)
  - 01-15 災害委員会等関連委員会資料 (欠番)
  - 01-16 学会図書の質疑に対する回答状況一覧 (聲高幹事)
  - 01-17 大会学術講演会若手優秀発表 (岡崎幹事)
  - 01-18 大会 PD の準備状況 (聲高委員)
  - 01-19 来年度 (2024 年度) 大会 PD 候補について (欠番)
  - 01-20 重点審議 座屈小委員会 (金尾委員)
    - 01-20-01 重点審議履歴 (五十嵐主査)
  - 01-21-01 24 年度大会 (細分類・細々分類 英語版) (五十嵐主査)
  - 01-21-02 各委員候補者推薦リスト (五十嵐主査)

## 5. 議事内容

### (1) 運営委員会委員名簿確認（資料 01-01-01 五十嵐主査）

- ・ 委員名簿の確認を行い、新任の委員（石井委員、金尾委員、城戸委員、佐藤委員、鈴木委員、和田委員）から挨拶を頂いた。

### (2) 前回議事録の確認（資料 01-02 村上幹事）

- ・ 2022 年度第 4 回の議事録案を確認した。
- ・ 軽鋼構造設計施工指針・同解説改訂小委員会の報告に関して、「6 月の構造本委員会」→「7 月の構造本委員会」に訂正。その他は承認された。

### (3) 構造本委員会の動き（資料 01-03 五十嵐主査）

- ・ 本委員会の開催はなし。
- ・ 資料 04-03 に基づき、構造本委員会からの情報に関して報告があった。質疑等は特になし。

### (4) 小委員会・WG等の報告

- ・ 資料 01-04～01-15 に基づき、各小委員会・WG等の担当委員から活動報告があった。

#### 座屈小委員会（資料 01-04 金尾委員）

- ・ 4/28 に小委員会を開催。
- ・ 運営委員会の重点審議での報告内容について討議。 →詳細は重点審議で報告

#### 接合小委員会（資料 01-05 桑原委員（代理：吉敷委員））

- ・ 小委員会の開催はなし。
- ・ 動画作成サブ WG を新たに組織し、動画コンテンツに関して検討開始。

#### 素材小委員会（資料 01-06 見波委員）

- ・ 小委員会の開催はなし。
- ・ 鋼材データ収集ならびに技術資料刊行物原稿のまとめ方について討議中。1 次原稿は 5 月末が目標。運営委員会査読は来年度以降。

#### 次世代設計規準検討小委員会（資料なし 山田委員）

- ・ 小委員会の開催はなし。
- ・ 時刻歴耐震設計検討 WG にて検討方針に関する意見交換を実施中。

#### 各種合成構造設計指針改定小委員会（資料 01-08 吉敷委員）

- ・ 小委員会の開催はなし。
- ・ 出版および講習会の準備中。(5/29 に校正原稿を集める予定)
- ・ 講習会はオンラインか？ →対面のみを予定している。

#### 環境小委員会（資料 01-09 和田委員）

- ・ 小委員会の開催はなし。
- ・ 指針改定方針に関する詳しい紹介があった。
- ・ 委員の公募を行ったが、特に応募はなかった。

#### 塑性設計小委員会（資料なし 佐藤委員）

- ・ 3/30 に小委員会を開催。

- ・ 指針改定内容（4章，9章，10章）の審議を行い，次回も引続き1章と2章の審議を予定している。10月に粗稿をまとめる予定。
- ・ 大会時，PDの前に（佐藤委員の学会賞受賞を受けて）学会賞関連の時間が設けられるので，PDの時間が少し短くなる予定。

#### 軽鋼構造設計施工指針改定小委員会（資料 01-11 竹内委員（代理：五十嵐主査））

- ・ 改定原稿案に関して、構造本委員会の査読結果に対する回答書（資料 01-11）の紹介があった。7月の構造本委員会承認を目標として対応中。

#### 耐火設計小委員会（資料なし 鈴木委員）

- ・ 小委員会の開催はなし。
- ・ 2027年の第4版刊行に向け，内容検討中。

#### 鋼管トラス構造設計施工指針改定小委員会（資料 01-13 越智委員）

- ・ 5/9, 5/12に小委員会を開催。
- ・ 引続き査読用原稿の取りまとめ中。小委員会内の査読は8月が目標。

#### 鋼構造限界状態設計指針改定小委員会（資料なし 井戸田委員）

- ・ 今年度から小委員会として活動開始予定（6月に第1回を予定）。

#### 災害委員会等（資料なし 井戸田委員）

- ・ 特に報告事項はなし。

#### (5) 学会図書質疑回答の報告（資料 01-16 聲高幹事）

- ・ 質疑回答の状況報告があった。
- ・ 昨年度の質疑回答についてはすべて対応済み。
- ・ 今年度は現状2件の質疑があり，すでに回答済み。

#### (6) 今年度大会学術講演会若手優秀発表について（資料 01-17 岡崎幹事）

- ・ 実施要綱ならびに採点要領の説明があった。⇒進め方に関して運営委員会承認  
⇒本委員会終了後、すぐにウェブページに記載・公知する
- ・ これから採点者（48名を想定）の案を検討する。

#### (7) 今年度大会PDについて（資料 01-18 聲高委員）

- ・ PD予告原稿ならびに準備状況の紹介があった。

#### (8) 来年度大会PDについて（資料なし 五十嵐主査）

- ・ 7月には来年度PDを決めたい。
- ・ 鋼構造限界状態設計指針改定小委員会はどうか？ 小委員会で検討してみる。（井戸田委員）
- ・ 鋼管トラス構造設計施工指針改定小委員会はどうか？ 来年は難しい。（越智委員）
- ・ その他の小委員会でも検討をお願いする。

#### (9) 構造本委員会からの依頼について（資料 01-21-01～02 五十嵐主査）

- ・ 24年度大会の細分類・細々分類に関する英語版（資料 01-21-01）に関して紹介があった。日

本語の分類も含めてメールで主査へ意見連絡のうえ、審議についてもメールで行うこととなった。

⇒6/16 までに、各小委員会で取りまとめていただいた意見を主査・幹事に報告

⇒そののち、メール審議を経て、6/30 までに構造本委員会に提出

- ・ 各委員候補者推薦の件（資料 01-21-02）に関して説明があり、背景についても山田委員より説明があった。推薦があれば6月中頃までに主査へ連絡のこと。

#### (10) その他自由討議（資料なし）

- ・ 大会時懇親会について討議があり、形式は立食形式を前提に検討する。見学会の可否についても検討を行う。まずは案内名簿の整理から始める。

#### (11) 重点審議：座屈小委員会（資料 01-20 金尾委員）

- ・ 資料 01-20 に基づき、「鋼構造物の座屈に関する諸問題 2022」出版・講習会、「鋼構造の座屈研究に関する国際連携 WG」活動、「鋼構造座屈設計指針」改定方針に関してそれぞれ紹介があった。

- 塑性変形能力という観点において、座屈設計指針と塑性設計指針の違い（区分け）は？
  - 座屈という現象に関しては座屈設計指針を見ればすべて設計できるというものを目指している。また、座屈設計と塑性設計を切り離すことは難しいと考えている。
- 座屈設計指針は SSRC のガイドを参考にしたところが出発点であったと思うので、その点が指針を分ける等の悩みの種になっているのでは？
  - 最新の知見については「座屈に関する諸問題」にまとめ、基本的な初学者向けの情報については「教科書的な書物」にまとめ、設計に関する事項や他指針類のバックグラウンド情報等は「座屈設計指針」にまとめる、というような3本柱を目指すことで整理をしていきたいと考えている。
- 座屈設計指針の囲みを付けた部分が、塑性設計指針と被ってしまうのでは？ 塑性設計指針が座屈設計指針に近づいたとも感じている。
- 囲みを設けるのは座屈設計指針にはそぐわないと考えている。設計については許容応力度設計規準と塑性設計指針によることとし、座屈設計指針はそれをサポートする書物という位置付けが望ましいと考えている。
  - これだけの変形性能を満足するにはこういう設計方法がある、という提案をしたい。
- 座屈設計指針に囲みを設けるのであれば、保有性能に対する要求性能が定義できるか、という点が重要になると思う。許容応力度設計と塑性設計の両方を受ける必要がある。「保有性能が評価できる」と「設計ができる」は意味が異なり、保有性能の評価だけでは囲みはつけるべきではない。
  - 囲みをつけるかどうかについても今後議論していきたい。
- 国際連携 WG の出版物はどのような形になるのか？
  - どのような形になるか（査読の要否も含め）は学会内で審議中。

#### (12) 次回重点審議について（資料 01-20-01 五十嵐主査）

- ・ 次回は接合小委員会に五十嵐主査より打診してみる。

## 6. その他

次回重点審議 未定

第2回鋼構造運営委員会 2023年8月2日（水） 13:30～17:00

大会期間中に鋼構造懇親会（対面）2023年9月12日（火）夕方

（OBや傘下の全小委員会・WG委員にも案内予定、若手に参加してもらいたい）

第3回鋼構造運営委員会 2023年12月8日（金） 13:30～17:00

第4回鋼構造運営委員会 2024年3月12日（火） 13:30～17:00

以上